

令和 7 年度（2025 年度）

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書
[令和 6 年度（2024 年度）事業対象]

令和 7 年(2025 年) 1 2 月

飯山市教育委員会

目 次

I はじめに	1
II 点検・評価制度の概要	2
1 自己点検・評価の考え方	
2 点検評価の対象事業	
3 点検評価の方法	
III 点検評価の結果	3~5
1 教育委員会及び教育委員の活動	
(1) 教育委員会及び教育委員の令和6年度（2024年度）開催実績	
(2) その他の会議・活動	
2 教育委員会事務局の事務事業評価の結果	6~31

I はじめに

飯山市教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、主要な事務事業の取組状況や課題、方向性を明らかにすることで、効果的な教育行政の一層の推進を図ることを目的とし、毎年度、執行状況の点検及び評価を行っています。このたび、令和6年度（2024年度）の事務事業について点検・評価を行った結果を報告書としてまとめ、公表します。

令和6年度（2024年度）の特徴的な取組みとして、以下のような事業がありました。

◎幼児教育無償化事業…令和7年度(2025年度)からの保育園給食での米飯提供のため自園炊飯を試行	順調
◎こども女性家庭センター運営事業…センター設置初年度、妊娠期から子育て期まで「切れ目のない支援」を一体的に提供、母子保健・児童福祉・女性相談の連携強化を図った。	概ね順調
◎学校給食負担軽減事業…小中学校の給食費公費負担について、前年度の4割負担から5割負担へと、保護者負担軽減を進めた。	順調
◎新たな小学校づくり事業…令和7年(2025年)4月の開校、同年9月の新校舎での学びスタートに向けた校舎建築等工事と、閉校記念事業、開校推進会議・各委員会等を実施。	順調
◎男女共同参画推進事業…第5次男女共同参画計画「誰もが自分らしく暮らせる飯山市」を策定、冊子発行。	概ね順調
◎絵本で育てるまちづくり事業…絵本コミュニケーター養成講座を実施し22名が修了、おでかけとしょかん、寄贈書籍の受入れなど実施。	概ね順調
◎大阪市姉妹交流都市提携50周年記念合唱祭事業…音楽を通じた文化交流として7月に飯山市、9月には大阪市において、市民公募合唱団等が参加した合唱祭を開催。	概ね順調
◎第82回国民スポーツ大会開催事業…国民スポーツ大会飯山市準備委員会を設立し、総会・常任委員会等を開催、先催地視察及び市営飯山シャントツェ整備基本設計等を実施。	概ね順調

以上のほか、教育委員会活動の状況及びすべての対象事業について点検・評価を行った結果を市議会に報告し、広く公表することにより、多くの市民の皆様に教育行政への理解が深まることを願っております。

II 点検・評価制度の概要

1 自己点検・評価の考え方

平成19年(2007年)6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

教育行政の推進にあたり、その政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和6年度(2024年度)の教育委員会事務事業について自己点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(訓条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする

2 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、原則として、教育委員会会議及び委員の活動、事務局が重点事業として取り組んだ主な事務事業としています。重点事業の目安として、飯山市総合計画の3か年実施計画に掲載(ハード500万円以上、ソフト100万円以上の2次経費+新規事業)及び、その他必要と認めるものとし、飯山市総合計画の重点施策項目により配列しました。

3 点検評価の方法

教育委員会会議及び委員の活動については年間の活動状況を報告し、事務事業については対象事業ごとに、取り組み内容及び結果、決算額、評価、今後の取り組み・課題等を掲載したものを報告します。

なお、評価にあたっては、飯山市総合計画、飯山市総合戦略、飯山市教育大綱に掲げる目標数値やコストとのバランスなどを勘案し、次の4区分の評価とします。

「順調」…優れた取組みが多く、十分成果が上がっている

「概ね順調」…優れた取組みがいくつかあり、成果は上がっている

「要検討」…一定の成果は上がっているが課題もあり、改善の必要がある

「要改善」…成果は十分上がっておらず、改善の余地が多く抜本的な見直しが必要

Ⅲ 点検評価の結果

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会及び教育委員の令和6年度（2024年度）開催実績

教育委員会及び教育委員は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和6年度（2024年度）においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。また、議決事項以外に城北中学校区新統合小学校の進捗状況についてなど、緊急性の高い行政課題全般について協議・報告を行いました。

○会議回数14回、審議案件24件

開催日	議 決 事 項
4月25日	・飯山市図書館協議会委員の任命について ・飯山市ふるさと館運営協議会委員の任命について ・飯山市立小中学校の学校薬剤師の解嘱および嘱託について
5月23日	・飯山市ふるさと館運営協議会委員の任命について
5月29日 (臨時会)	・通学区区域外就学の許可について 1件
6月26日	・第5次飯山市男女共同参画計画策定委員の委嘱について
7月22日	・通学区区域外就学の許可について
8月22日	・令和7年度（2025年度）中学校教科用図書の採択について
9月25日	・飯山市図書館協議会委員の任命について ・飯山市文化財保護審議会委員の委嘱について
10月21日	・通学区区域外就学の許可について 1件

11月26日	・通学区区域外通学の許可について 2件 ・飯山市文化財保存活用地域計画協議会委員の任命について
12月25日	・飯山市公民館地区公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について ・通学区区域外通学の許可について 1件
1月25日	議事なし
2月17日	・令和7年度（2025年度）飯山市当初予算案（教育委員会関係）について ・通学区区域外通学の許可について 1件
2月28日 （臨時会）	・令和7年度（2025年度）飯山市立小中学校校長の内申について
3月26日	・飯山市スポーツ推進委員の委嘱について ・飯山市公民館地区公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について ・飯山市美術館運営協議会委員の任命について

（２）その他の会議・活動

◆ 城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議

新統合小学校の開校に向けた取り組みを推進するため、城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議を令和4年(2022年)4月15日に設置。本会議では、新統合小学校の開校に向けた「新統合小学校開校推進計画」を作成し、各種事業の計画・推進にかかる各種委員会等を統括し、推進上の課題解決を図る。

- ・推進会議：5月7日、11月27日、3月3日 計3回
- ・城北小学校開校に向けた地域説明会：12月16日（常盤小）、17日（泉台小）、19日（東小）、20日（戸狩小） 計4回

◆ 新任校長・教頭・新規採用教員辞令交付式（4月）

◆ 保育園入園式・小中学校入学式（4月）

◆ 小学校運動会（5～6月）

◆ 中高飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会（6・7月）

◆ 県主幹指導主事学校訪問（6月・9～10月） 計7回

◆ 保育園訪問：7月18日 常盤保育園

◆ 教育委員退任：小林輝紀委員（～10月8日）2期8年

◆ 教育委員就任：渡邊奈奈恵委員（10月9日～）

◆ 中高飯水教育課程研究協議会（10月22日）

- ◆ 長野県市町村教育委員会研修総会（10 月 25 日：諏訪市）
- ◆ 市 P T A 連合会からの質問・要望（書面；10 月）
- ◆ 城北中学校区 4 小学校 卒業式・閉校式（3 月 7 日）
- ◆ 保育園卒園式・小中学校卒業式（3 月）
- ◆ その他各種会議、大会、式典等への出席

2 教育委員会事務局の事務事業評価の結果一覧

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
1	魅力ある保育サービスの推進	延長保育委託事業	順 調	子ども育成課
2		通園バス運行事業	概ね順調	子ども育成課
3	子育て世代支援	児童手当給付事業	順 調	子ども育成課
4		児童扶養手当等給付事業	順 調	子ども育成課
5		児童クラブ等運営事業	概ね順調	子ども育成課
6		児童福祉施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
7		飯山市子ども館等運営事業	順 調	子ども育成課
8		幼児教育無償化事業	順 調	子ども育成課
9		私立幼稚園運営支援事業	順 調	子ども育成課
10		（拡）ひとり親等福祉事業	順 調	子ども育成課
11		（拡）子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	順 調	子ども育成課
12		城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	順 調	子ども育成課
13		令和5年度（繰越）城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	順 調	子ども育成課
14		（新）こども女性家庭センター運営事業	概ね順調	子ども育成課
15		（拡）学校給食費負担軽減事業	順 調	子ども育成課
16	生き抜く力を育むための教育	学力向上総合対策事業	概ね順調	子ども育成課
17		小中学校図書館図書整備事業	順 調	子ども育成課
18		教師用教科書指導書購入事業	順 調	子ども育成課
19	公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育	小学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
20		中学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
21		新たな小学校づくり事業	順 調	子ども育成課
22		令和5年度（繰越）新たな小学校づくり事業	順 調	子ども育成課
23		育英資金貸付事業	概ね順調	子ども育成課
24	新たな時代に対応できる力を磨く教育	中学校国際交流事業	概ね順調	子ども育成課
25		英語教育推進事業	順 調	子ども育成課
26		小中学校 I C T 教育推進事業	概ね順調	子ども育成課
27	飯山を担うためのふるさと教育	冬期学校スポーツ振興事業	概ね順調	子ども育成課
28		総合教育推進事業	順 調	子ども育成課
29		平和学習派遣事業	順 調	子ども育成課

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
30	共生社会が実現するための教育	心の教室相談員設置事業	概ね順調	子ども育成課
31		特別支援教育支援員配置事業	概ね順調	子ども育成課
32		不登校児童生徒支援事業	概ね順調	子ども育成課
33	地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ	中学校部活動支援事業	概ね順調	子ども育成課
34	多様性を認め合う地域づくり	男女共同参画推進事業	概ね順調	人権政策課
35	人権意識の啓発活動の推進	人権同和教育推進事業	概ね順調	人権政策課
36	学びと生きがいがづくり	飯山雪国大学事業	概ね順調	市民学習支援課
37		地区館事業	概ね順調	市民学習支援課
38	魅力ある図書館づくり	読書普及事業	概ね順調	市民学習支援課
39		絵本で育てるまちづくり事業	概ね順調	市民学習支援課
40	歴史・文化の保存、伝承と活用	文化的景観保護推進事業	概ね順調	市民学習支援課
41	芸術文化活動の推進	ふるさと学習推進事業	概ね順調	市民学習支援課
42		企画展開催事業	概ね順調	文化交流課
43		大阪市姉妹交流都市提携50周年記念合唱祭事業	概ね順調	文化交流課
44		芸術文化振興事業	概ね順調	文化交流課
45	スポーツ活動の推進	スポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進課
46		ジュニアスポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進課
47		スポーツツーリズム推進事業	要検討	スポーツ推進課
48	スポーツ施設の魅力化	体育施設整備事業	概ね順調	スポーツ推進課
49		第82回国民スポーツ大会開催事業	概ね順調	国民スポーツ大会推進課
50	防犯対策の推進	犯罪被害者等支援事業	概ね順調	人権政策課

事業名・担当課	No. 1	延長保育委託事業	子ども育成課	
事業概要	保育時間を超える延長保育を実施。 延長保育は市内公立全園及び私立保育園で実施。（事業費はめぐみ保育園への委託料）			
取組内容及び成果	・ 保育時間の延長に対する需要に応じ、保育所8園にて延長保育を実施し、児童福祉の向上に努める。 ・ 実施保育所 公立：7園（全園）私立：1園（めぐみ） 実施日数：284日、 延利用人数：2,366人 延長保育委託料（めぐみ保育園） 6,332千円 ○ 保育時間を延長することで、子育て世帯等を支援している。			
決算額	6,332 千円	評 価	順調	
今後の取組・課題等	共働き世帯、ひとり親世帯及び核家族化の進行等により、保育標準認定（11時間保育）が増えており、延長保育も含め対応する保育士の確保が年々困難となっている。			

事業名・担当課	No. 2	通園バス運行事業	子ども育成課	
事業概要	保育園の統廃合により、遠距離の保育園に通園が必要となった世帯の支援のため、通園バスを運行する。			
取組内容及び成果	・ 保育所の統廃合により、遠距離の保育園に通園する児童の交通手段確保のため、通園バスの運行を委託。 令和6年（2024年）度運行台数 3台 しろやま保育園…1台（斑尾）、いずみだい保育園…1台（外様） とがり保育園…1台（北瑞） ・ 運行委託費 6,050千円 しろやま保育園 2,275千円、いずみだい保育園 1,810千円 とがり保育園 1,965千円 ○ 遠距離通園する児童の交通手段及び安全が確保されている。			
決算額	7,765 千円	評 価	概ね順調	
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、遠距離通園世帯の負担軽減を図る。 また、通園バスについても計画的に更新を行う。委託先の運転手不足及び添乗する保育士の確保が今後の課題となっている。			

事業名・担当課	No. 3	児童手当給付事業	子ども育成課
事業概要	18歳年度末までの児童を対象に、国の制度に基づき児童手当を支給する。		
取組内容及び成果	・（旧制度）中学校3年生までの児童を対象に児童手当を支給。 支給対象者：延べ11,890人（8か月） 月額：0歳～3歳未満 15,000 円 3歳～小学校修了前 10,000 円（第3子以降 15,000 円） 中学生 10,000 円 特例給付（所得制限） 5,000 円 所得上限限度額を超える場合は手当等の支給なし ・（新制度）18歳年度末までの児童を対象に児童手当を支給。 支給対象者：延べ7,778人（4か月） 月額：0歳～3歳未満 15,000 円（第3子以降 30,000 円） 3歳～18歳年度末まで 10,000 円（第3子以降 30,000 円） ・ 児童手当システム（児童手当拡充対応）改修業務委託（5月～9月） 契約者：㈱電算 契約金額：4,544千円 ・ 児童手当現況届受付（6月～9月） 児童手当法施行規則の一部改正により、令和4年度分の現況届から公簿等で受給者の支給要件に係る情報等を確認できる場合には提出を省略。公簿等で確認できない受給者について現況届の提出を求めた。 ・ 現況届の省略人数：833人 ・ 現況届該当世帯：一般…17世帯、施設（里親）…2世帯 ○ 子どもの育ちを社会全体で応援する仕組みによって、児童の養育者を支援できた。		
決算額	242,622 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づき引き続き事業を実施し、保護者の経済的支援を行うことにより、児童の健全育成を図る。		

事業名・担当課	No. 4	児童扶養手当等給付事業	子ども育成課
事業概要	18歳未満の児童を養育するひとり親に対し、国の制度に基づき児童扶養手当の支給を行う。20歳未満の障害児を養育する親に対し、国の制度に基づき特別児童扶養手当の受付事務を行う。		
取組内容及び成果	・ 18歳未満の子がいるひとり親を対象として月額45,500円の児童扶養手当を支給（所得額、児童数により変動あり）。 多子加算額（第2子：5,380円→所得に応じて最大10,740円） R6.11月より 第3子も第2子と同額。 児童扶養手当受給資格者数…127 人 支給対象者…104人 全部停止者…（事由別）本人所得15人、扶養義務者所得8人 ・ 20歳未満の障害児を養育する親に支給する、特別児童扶養手当（月額36,860円又は55,350円、県が支給）の受付事務を行う。 特別児童扶養手当受給者数…37人 ・ 児童扶養手当現況届、特別児童扶養手当所得状況届受付（8月） 集中受付（於：市役所）（8/15,16） ・ 児童扶養手当システム使用契約（4/1） 契約者：㈱電算 支払額：1,551千円（システム保守・使用料） ○ ひとり親世帯及び障害児を養育する世帯の生活の安定と自立に貢献している。		
決算額	51,515 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づき引き続き事業を実施し、ひとり親家庭等の児童の福祉向上を図る。令和6年（2024年）11月から、児童扶養手当制度が拡充された。		

事業名・担当課	No. 5	児童クラブ等運営事業	子ども育成課
事業概要	児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、児童センター・児童館を設置。また、放課後保護者が不在となる小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設する。		
取組内容及び成果	【児童館(センター)運営】 委託契約額：17,627千円 - 児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、登録児童及び一般来館児童を対象に児童館・児童センターを開設し、運営を飯山市社会福祉協議会に委託している。(木島児童館・戸狩児童センター) - 登録児童：帰宅時家族が留守の小学生 - 令和6年(2024年)度累計利用児童数(登録児童)： - 木島…6,511人、戸狩…4,355人 - 自由来館：18歳までの児童 - 令和6年(2024年)度累計利用児童数(自由来館)： - 木島…1,367人、戸狩…3,022人 【児童館クラブ運営】 委託契約額：27,836千円 - 放課後、保護者が家にいない小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設し、運営を飯山市社会福祉協議会に委託している。(泉台、秋津、瑞穂、常盤児童クラブ) - 令和6年(2024年)度累計利用児童数：泉台…3,708人、秋津…9,627人、瑞穂…3,372人、常盤…3,302人 - 児童センター等運営委員会(於：市福祉センター)(6/19) ○ 放課後児童の健全な遊び場を提供するとともに、児童厚生員・放課後児童支援員の指導により健康増進と情操の向上を図ることができる。		
決算額	45,790 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	- 引き続き事業を実施し、児童の健全育成を図る。施設については、利用児童の増により施設が手狭となっている。 - 市内の4小学校(泉台、常盤、東、戸狩)の統合に伴い、児童クラブについても統合し、城北小学校内に新たな城北児童クラブ開設を進める。		

事業名・担当課	No. 6	児童福祉施設整備事業	子ども育成課
事業概要	保育所、児童センター、児童館等の施設改修や修繕、備品購入を行う。		
取組内容及び成果	- 児童福祉施設に必要な施設修繕工事、物品購入等を実施。 ＜主な工事等＞ - しろやま保育園他 保育園空調設備改修工事 616千円 - 秋津保育園 空調整備工事 1,221千円 - とがり保育園 空調整備工事 1,892千円 - 秋津保育園 保育室石油暖房取替工事 660千円 - 常盤保育園 ボイラー入替工事 990千円 - とがり保育園 天井埋込照明器具取替工事 1,089千円 他、児童福祉施設における営繕に関わる修繕費等 ○ 児童福祉環境の向上及び施設の適切な維持管理が図られた。		
決算額	8,574 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	全体的に施設の老朽化が進行しているなかで、大規模修繕が必要な施設が増えており、今後の施設整備のあり方等を検討する必要がある。特に増加する保育園の未満児への施設的な対応が課題であり、今後の保育園のあり方を検討する中で順次整備を図っていく必要がある。		

事業名・担当課	No. 7	飯山市子ども館等運営事業	子ども育成課
事業概要	子育てに関する複合施設である飯山市子ども館「きらら」の運営及び各種子育て支援施策を行う。		
	・子育てに関する複合施設である飯山市子ども館の運営等、各種子育て支援施策を実施する。 飯山市子ども館「きらら」 【機能】 児童センター機能、放課後児童クラブ機能、子育て支援センター機能、病後児保育機能、放課後等デイサービス機能 ・児童センター機能 委託契約額：5,290千円 令和6年（2024年）度累計利用児童数：6,534人 ・放課後児童クラブ機能 委託契約額：13,544千円 令和6年（2024年）度累計利用児童数：14,745人 ・子育て支援センター事業 子育て支援センター「たんぽぽ」と北部子育て支援センターの2か所を運営。北部子育て支援センターは飯山市社会福祉協議会に運営を委託し事業を行っている。 北部子育て支援センター 委託契約額：1,799千円 令和6年（2024年）度累計利用児童数：たんぽぽ…1,533人、北部…717人 ・病後児保育事業 保育園に在園中で「病気の回復期」にあり、保育園での集団保育が困難な児童を専用の保育室で預かり保育を行う。 令和6年（2024年）度累計利用児童数：16人 ・ファミリーサポートセンター事業 依頼会員：25人 提供会員：38人 延べ活動回数：23回 ○ 各種子育て支援事業の実施により、幅広い年齢の児童の健全育成が図られるほか、保護者の就労支援に資することができる。		
決算額	26,300 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	土日・長期休み中等、魅力あるイベント等を企画し、さらに利用者増を図る（特に飯山小学校以外の児童の利用促進）。令和6年（2024年）度から日曜日の子育て支援センター室の開放を開始し、利用者の利便性の向上を図った。その他、相談機能についても機能強化を図る。		

事業名・担当課	No. 8	幼児教育無償化事業	子ども育成課
事業概要	令和元年（2019年）10月1日から、国の制度による幼児教育・保育の無償化が開始され、飯山市においても3歳以上児の保育料、給食費の無償化を行う。		
	・令和元年（2019年）10月1日から、国の制度改正により幼児教育・保育の無償化が開始され、私立幼稚園の保育料を無償化した。実費徴収することとされた3歳以上児の副食費についても、飯山市独自に無償化し、令和5年（2023年）5月からは、認可外保育施設に通う3歳未満児の主食・副食費についても無償化し、子育て世帯の負担軽減を図った。 - また、令和7年（2025年）度からの主食費無償化に向け、公立保育園において、お試し炊飯（自園炊飯）を実施した。お試し炊飯にかかる経費については保育所運営事業で対応した。 施設等利用給付 1,110千円（対象者 36名） 給食費補助金 5,069千円（対象者 63名） 第3子無料化補助 145千円（対象者 2名）		
決算額	6,532 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度の無償化対象外とされた給食費（副食費）についても、飯山市独自に無償化を行い保護者負担の軽減を図った。令和7年（2025年）度から3歳以上の主食費も無償化し、給食費の完全無償化を実施する。		

事業名・担当課	No. 9	私立幼稚園運営支援事業	子ども育成課
事業概要	子ども子育て支援新制度へ移行した市内私立幼稚園に対し、教育・保育を提供するために必要な給付を行った。また、市内私立幼稚園に勤める幼稚園教諭等の処遇の改善を図るために要する経費について、国の制度に基づき補助金の支給を行う。		
取組内容及び成果	令和3年（2021年）度より新制度へ移行した私立幼稚園に対する施設型給付費等の支払いを行う。 施設型給付費等負担金 49,757千円（施設利用者延べ539名） ○ 私立幼稚園の安定した運営への支援になっている。		
決算額	49,757 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	引き続き事業を実施し、安定した幼稚園運営が行われることで市内の幼児教育へのニーズに対応する。		

事業名・担当課	No. 10	ひとり親等福祉事業	子ども育成課
事業概要	母子父子自立支援員1名を配置し、保健師やケースワーカー、民生児童委員等との連携により、ひとり親家庭の相談窓口となる他、新生ひとり親家庭の把握に努める。		
取組内容及び成果	- ひとり親家庭 187件 - 相談件数 165件 377回 （離婚、生活、各種手当等） - ショートステイ事業 1世帯 3回利用 - ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 0件 - 国庫補助金超過額返還金 R6新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金 返還額：1,041千円 ○ 母子父子自立支援員を中心に関係機関と連携して相談・指導を行っている。		
決算額	1,052 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	母子父子自立支援員を中心にひとり親の生活相談や関係機関と連携し、自立支援の強化、虐待予防の観点から事業の継続が必要。		

事業名・担当課	No. 11	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯）事業	子ども育成課
事業概要	食費等の物価高騰により影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を給付する。		
取組内容及び成果	食費等の物価高騰により影響を受ける子育て世帯（ひとり親世帯）に対し、特別給付金を給付。 支給額：児童一人当たり 1 万円 ＜ひとり親世帯分＞ 支給実績額：1,540千円 105件（児童：154人） （令和6年（2024年）1月分児童扶養手当受給者分） ○ 物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯への生活支援に寄与している。		
決算額	1,569 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	児童扶養手当支給対象世帯への給付後、ひとり親世帯の公的年金受給者、家計急変世帯からの申請受付を順次行い、支援が必要な世帯へ拡充する。		

事業名・担当課	No. 12	城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	子ども育成課
事業概要	学校統合に伴う新たな放課後児童の居場所づくりのため、放課後児童クラブを整備する。		
取組内容及び成果	令和7年（2025年）9月から開校する城北小学校新校舎に併設する児童クラブの整備を実施する。 児童クラブ建設工事 60,115千円 監理業務委託 550千円		
決算額	61,138 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	城北小学校に新たな児童クラブを併設するため、新たな小学校づくり事業と併せて推進していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 13	令和5年度（繰越）城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	子ども育成課
事業概要	学校統合に伴う新たな放課後児童の居場所づくりのため、放課後児童クラブを整備する。		
取組内容及び成果	令和7年（2025年）9月から開校する城北小学校新校舎に併設する児童クラブの整備を実施する。 児童クラブ建設工事 20,097千円 監理業務委託 330千円		
決算額	20,427 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	城北小学校に新たな児童クラブを併設するため、新たな小学校づくり事業と併せて推進していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 14	こども女性家庭センター運営事業	子ども育成課
事業概要	全ての妊産婦、子育て世帯、子ども、女性を対象とした包括的な相談窓口を一体的に行うため、飯山市こども女性家庭センターを設置。		
取組内容及び成果	・ 様々な相談に対応できる支援員を配置し、各種相談を受け付け、支援を行う。 ・ 虐待対応専門員（相談室長兼務）1名 ・ こども家庭支援員 2名 ・ 家庭児童相談員 1名 ・ 女性相談件数 実人数54人（述べ83人） ・ 新規相談件数 117件（養護4、保健0、障がい21、育成85、その他7） ・ 県中央児童相談所巡回児童相談（保健センター）05/31、08/11、10/24 ・ そだちネットワーク05/13、07/12、09/06、11/15、02/19 ・ 特別支援教育連携協議会 05/29、11/25 ・ 県家庭児童相談員連絡協議会総会・研修会 05/31 ○ 母子保健と児童福祉を担うこども女性家庭センターの設置により妊娠期から子育て期まで「切れ目のない支援」を一体的に提供し、サポートプランの作成や地域資源との連携を通じ、子育て家庭の様々な相談に寄与している。		
決算額	12,845 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・ 令和6年（2024年）度から「こども女性家庭センター」を設置し、すべての妊産婦、子育て世帯、子ども、女性を対象に母子保健・女性相談・児童福祉の連携を強化し一体的な相談、支援の向上を図る。 ・ 年々相談件数が増えており、支援員、相談員の負担が増えている。専門的な知識を持った「こども家庭ソーシャルワーカー」等の資格保持者を配置する必要があると思われる。 ・ 要保護児童対策協議会（児童虐待対策）についても、関係者との連携強化及び機能強化を図る必要がある。		

事業名・担当課	No. 15	学校給食費負担軽減事業	子ども育成課
事業概要	保護者負担軽減のため、学校給食費の5割を補助。		
取組内容及び成果	小中学校に通う児童生徒を持つ保護者の方の経済的負担を軽減することを目的として、児童生徒の保護者が負担する給食費に対し補助金を交付する方法で、学校給食費の5割を軽減する事業を実施。（令和5年（2023年）度 4割補助実施） ・ 対象児童生徒 小学生745人、中学生415人、区域外就学者10人 学校給食費の補助を行い、保護者の負担軽減が図れた。		
決算額	36,949 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	財政側の理解が必要となるが、段階的に補助割合を上げて、将来的な無償化を目指す。また、国の給食費無償化への動向にも注視していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 16	学力向上総合対策事業	子ども育成課
事業概要	市と校長会が連携し飯山市学力向上事業（第5次学力向上事業（2018～22）の5年次）の取組みを継続的に推進し、小中高連携による学力向上の取組、研修会等を実施、市費加配の学力向上支援員を小中学校に配置。		
取組内容及び成果	・学力向上支援員の配置 東小3名、城南中2名、泉台・常盤・戸狩・木島小・城北中各1名 ・中間教室支援員（心の相談員）の配置 飯山小・木島小・城北中、各1名 ・授業改善指導を信州大学教育学部教授へ依頼し、指導を実施。 学力向上夏期研修会 8/21（文化交流館なちゅらにて） ・児童生徒の学力向上のためのテスト・研究会を実施。 ・総合学力調査（4月・12月）と意識調査（4月） 小学生2教科・中学生5教科 ・学力向上委員会 4/25 6/26 8/29 ・小中学校学年会・教科会 5/15、8/21、10/2（中）、10/10（小）、10/28（中） ・中高交流学力向上委員会による授業研究 10/8 総合学力調査では各学校・学級・個人ごとの学力の傾向や、学習意識の把握ができるとともに、全国平均との比較や苦手分野の分析ができ、学校での指導に役立った。		
決算額	22,194 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	数学・英語を中心に学力標準テストの結果分析を効果的に活用するとともに、中高交流、信州大学の指導、各種職員研修を充実させ、教師力・授業力の向上を図りたい。		

事業名・担当課	No. 17	小中学校図書館図書整備事業	子ども育成課
事業概要	学校へ予算配当し、小中学校の図書館図書の充実を図る。		
取組内容及び成果	・「学校図書館図書標準」に基づいて、学校図書館図書を購入し図書館の充実に努めた。		
決算額	3,798 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	令和7年（2025年）4月開校の城北小学校の開校も考慮しつつ計画的な図書の購入と、古い図書の廃棄や整理を進め、利用しなくなる図書館づくりが必要。		

事業名・担当課	No. 18	教師用教科書指導書購入事業	子ども育成課
事業概要	小中学校の教科書改訂にあわせ教師用の指導書を購入。		
取組内容及び成果	・令和6年（2024年）～改訂の小学校教師用の指導書（後期分）を購入 679千円 ・令和7年（2025年）～改訂する中学校教師用の指導書・デジタル教科書を購入 6,651千円		
決算額	7,330 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	今後も新しい学習指導要領やデジタル化へ柔軟に対応していく。		

事業名・担当課	No. 19	小学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	小学校施設の老朽箇所の工事を行い、備品等を整備した。		
取組内容及び成果	・小学校7校における老朽箇所の工事、委託及び備品整備を行う。 飯山小学校石油暖房取替工事 561千円 小学校消火器購入(飯山、秋津、木島) 1,298千円 秋津小学校防火設備修繕工事 979千円 他 小学校7校の小破修繕、備品整備、消耗品購入等を実施 小学校施設の老朽化が進む中、急を要するところから順次修繕工事や備品更新を行った。		
決算額	8,310 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕を単年度で全て実施することは難しいため、長寿命化計画に基づき計画的に進める必要がある。		

事業名・担当課	No. 20	中学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	中学校施設の老朽箇所の工事を行い、備品等の整備を行った。		
取組内容及び成果	・中学校2校における老朽箇所の修繕工事、委託及び備品整備を行った。 城北中学校体育館照明LED化工事 5,830千円 城北中学校熱中症対策施設設置工事 2,145千円 城南中学校体育館照明LED化工事 4,510千円 城南中学校防火設備修繕工事 682千円 他、中学校2校における、営繕に関わる修繕費、備品費等 中学校施設の老朽化が進む中、緊急的なところから順次修繕工事等を行った。		
決算額	37,070 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕を単年度で全て実施することは難しいため、長寿命化計画に基づき計画的な施設修繕が必要。		

事業名・担当課	No. 21	新たな小学校づくり事業	子ども育成課
事業概要	令和7年（2025年）4月開校に向けた仮校舎の改修工事及び各種準備と、9月からの新校舎開校に向けた建築及び周辺施設の継続工事		
取組内容及び成果	- 令和7年（2025年）4月開校に向け、城北中学校区新統合小学校の整備を実施。 校舎建築工事（R5.8.29～R7.7.15） 3,366,000千円 工事監理業務委託（R5.8.29～R7.7.30） 44,000千円 城北小学校プール建設工事（R6.12.23～R7.8.22） 180,400千円 - 閉校記念事業への補助金（各校上限1,200千円） 3,967千円 - 開校準備を進める開校計画推進会議の開催、また、委員会や分科会、部会での検討を実施 - 城北小学校区の4,5年生の校舎見学会 10/8, 11 - 放課後子ども教室（アフタースクール）の試行 9/24～10/24 - 開校準備ニュースの発行 月1回 - 仮校舎となる戸狩小学校での授業に向け改修整備を実施 戸狩小学校空調改修工事 8,745千円 戸狩小学校調理場改修工事 616千円 - 閉校3校から仮校舎への備品等引越委託 1,091千円 - 城北中学校区4小学校卒業式・閉校式 3/7		
決算額	1,005,725 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	引き続き令和7年（2025年）4月開校に向けて計画どおり整備を進めていく。また9月以降からの新校舎開校のための準備も同時に検討・準備を進めていく。		

事業名・担当課	No. 22	令和5年度（繰越）新たな小学校づくり事業	子ども育成課
事業概要	令和7年（2025年）4月開校に向けた仮校舎の改修工事及び各種準備と、9月からの新校舎開校に向けた建築及び周辺施設の継続工事		
取組内容及び成果	- 令和7年（2025年）4月開校に向け、城北中学校区新統合小学校の整備を実施。 校舎建築工事（R5.8.29～R7.7.15） 606,054千円（出来高分） - 城北小学校校歌作成（作曲）業務 1,000千円		
決算額	613,874 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	引き続き令和7年（2025年）4月開校に向けて計画どおり整備を進めていく。また9月以降からの新校舎開校のための準備も同時に検討・準備を進めていく。		

事業名・担当課	No. 23	育英資金貸付事業	子ども育成課
事業概要	将来長野県の小中学校の教員を目指す大学生への無利子の奨学金貸付制度のため、育英基金に積み立てを行う。		
取組内容及び成果	・育英基金の積み立てを実施 ・令和6年（2024年）度貸与対象者7名 月額40千円×12月×7名 ・令和6年（2024年）度 償還対象者 18名 【制度概要】 ・大学等を卒業後6ヶ月後から、貸付期間の2.5倍の期間で返済 返済金額（短期大学60ヶ月、大学120ヶ月：月額：16,000円） ・大学卒業後5年以内に長野県義務教育諸学校等の正規教員に採用され、 3年間教員のその職についたときは、償還額の1／3を上限として免除。 【令和6年（2024年）度末基金現在高】 46,414千円		
決算額	15 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	教員を目指す学生に限らず、一般の大学生に対する貸付も検討が必要。		

事業名・担当課	No. 24	中学校国際交流事業	子ども育成課
事業概要	平成13年（2001年）から中国深圳外国語学校と第一中学校そして飯山市教育委員会が交流を継続。また平成26年（2014年）に豪州バサーストハイキャンパス校と姉妹校協定を締結し、市内中学校との交流を通し生徒の視野を広げ、国際化社会に対応できる人材育成を目指す。両校と相互に訪問、ホームステイや授業参加などで交流を行う。		
取組内容及び成果	・中国深圳外国語学校（生徒11名・先生3名）が7/9～11に、平成29年（2017年）以来7年ぶりに飯山市へ来訪。 城南・城北中学校生徒と授業や部活動へ一緒に参加し相互交流が深まった。		
決算額	13 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	多くの生徒が中国・オーストラリアの生徒との交流を通じ国際交流、相互理解を高めることが望まれる。 渡航の際は、航空運賃等経費の高騰に伴い、参加者負担額についても再検討の必要があると考えている。		

事業名・担当課	No. 25	英語教育推進事業	子ども育成課
事業概要	英語教育の充実、児童生徒の英語力向上のため、英語指導主事の雇用、小中学校の英語指導助手（ALT）配置、GTEC（スコア型4技能テスト）実施事業を行った。		
取組内容及び成果	・小・中学生の英語力及び英語コミュニケーション能力の向上を図るため、5名の外国語指導助手（ALT）を任用。うち2名が8月に任期満了で入れ替え。 ・ALT・英語指導主事を雇用し、小中学生の国際感覚と英語コミュニケーション能力の向上につながった。 ・ALT報酬 10,633千円 ナア・カシリ（～R6.8）飯山小、戸狩小 シャロット・オリアリ（～R6.8）木島小、秋津小 ジャネル・マヨ（R4.8～）城北中 ヘス・カルロ（R6.8～）常盤小、泉台小、飯山小 キャサリン・メル（R6.8～）飯山小、戸狩小、東小 ・ALT派遣業務委託（2名） 11,137千円 レイモン・バラガンズ（R3.8～）秋津小、木島小、東小 ロバート・ゴルビ・オスキー（R4.8～）城南中 ・中学3年生GTEC実施 12/4		
決算額	25,525 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	ALTおよび小学校教員の英語授業指導力の向上が望まれる。GTEC実施により中学生の英語技能到達度を計り、授業に生かしていく。 飯山市の子どもたちが生きた英語に触れ、確かな英語力を獲得できるよう取組を継続する。		

事業名・担当課	No. 26	小中学校 I C T 教育推進事業	子ども育成課
事業概要	国が進めるGIGAスクール構想により配備した1人1台タブレット端末を活用するための環境整備。また、学校のICT活用研究委員会とも連携し、更なる I C T 教育推進に向け取り組みを進めている。		
取組内容及び成果	・更なるICT教育を推進するための環境整備を行った。 - 小中学校タブレット等保守委託 1,364千円 - 小中学校 I C T 活用支援業務委託 2,907千円 - 校務用PC購入（20台） 3,410千円 - 木島小アクセスポイント更新 2,970千円 - 中学校ネットワークアセスメント（2校） 880千円 - 学校ネットワークファイヤーウォール更新 792千円 - 保護者連絡アプリ使用料 364千円 環境整備のほか活用についても支援を行い、よりICT教育が推進された。		
決算額	14,346 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後はタブレット機器の更新時期となるため、計画的に取り組む必要がある。また更なるICT活用計画を進めていく。		

事業名・担当課	No. 27	冬期学校スポーツ振興事業	子ども育成課
事業概要	飯山市の特徴的なスポーツであるスキースポーツの振興を図るため、小学校2回、中学校1回のアルペンスキー教室を実施。		
取組内容及び成果	・冬期スキー振興のため、小中学校でスキー教室を実施。 ・スキー教室指導員委託料 1,730千円 ・リフト使用料（教職員、保護者・指導者）・バス借上げ料 1,540千円 スキー教室の実施により、冬季スポーツの振興が図られた。小学校は2回、中学校は1回実施。		
決算額	3,354 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	保護者ボランティアの減少及びバス代・リフト代等が高騰しているが、ふるさと教育の一環として、クロスカントリースキー同様、引き続きスキーの普及に努めたい。		

事業名・担当課	No. 28	総合教育推進事業	子ども育成課
事業概要	総合的な学習や飯山らしい特色ある教育の推進のための、学校教育へのサポートを実施する。		
取組内容及び成果	・米づくり学習の運営 各学校で米づくり学習を通じて地域との交流とふるさと学習への体験につながった。 米づくり管理謝礼・消耗品等 340千円 ・ラフティング体験学習委託 634千円 小学5年生を対象に、千曲川でのラフティング体験学習を委託。 千曲川を学び感じる経験を5年生が体験できた。 ・総合学習交付金 総合的な学習の時間で、学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を行うための補助を実施。 小学校3～6年生・中学校全学年を対象 1クラス 10,000円を上限に補助金を支給 600千円 ・飯山市校長会交付金 886千円 ・学校、学級ごとに特色ある総合的な学習をすすめる交付金と、校長会への交付金が多様な教育活動に活用された。		
決算額	2,487 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	米づくり学習やコミュニティスクールでは地域との協働のあり方、継続性が課題となる。ラフティング体験や総合学習、飯山らしい教育の推進により、ふるさとを知り、その魅力を感じとることを目指す。また、中学校においても、ふるさと学習及び総合学習を充実させたい。		

事業名・担当課	No. 29	平和学習派遣事業	子ども育成課
事業概要	広島平和式典への参列（中学生10名）及び満蒙開拓団の授業（中学3年生）等、平和の大切さについて中学生が学習した。		
取組内容及び成果	・ 中学3年生対象に満蒙開拓団の学習として阿智村満蒙開拓平和記念館を訪問（城南中7/4・城北中7/5） ・ 8/5～6の広島平和記念式典へ中学生を派遣（中学生10名、引率者3名） 原爆の悲惨さや平和の大切さを実感する学習。参加生徒たちは、文化祭や平和の集会等で報告し全校で成果を共有している。		
決算額	1,920 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	満州引揚にかかわる丸山邦雄氏の業績等も授業に取り込むなど、生徒が主体的に関わる飯山らしい平和について学習することを望む。		

事業名・担当課	No. 30	心の教室相談員設置事業	子ども育成課
事業概要	城南・城北中の各学校に生徒からの相談を受ける「心の教室」を設置し、相談員（2名）を雇用。		
取組内容及び成果	・ 不登校の生徒や、悩みストレスを抱えた生徒に対して両中学校各1名の相談員を配置し、相談業務を行う。 教室に入れない生徒が相談員と話して状況が改善するなど、校内の居場所の一つとして心の教室が役立っている。		
決算額	3,231 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	「心の相談員」「不登校対策支援員」等のそれぞれの役割と連携を明確化しながら、当市ならではの「不登校防止、早期対応」の有効な体制やシステム構築、学校外機関との連携についても検討していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 31	特別支援教育支援員配置事業	子ども育成課
事業概要	日常生活や学習に支援や配慮が必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を小中学校に配置する。		
取組内容及び成果	・ 教育現場の状況に応じて、日常生活や学習に支援の必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を各校に配置。個々の児童生徒に応じた指導や支援を図ることができた。 城南中4名、飯山小・戸狩小各3名、秋津小2名 泉台小・常盤小・木島小・城北中各1名		
決算額	21,248 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	インクルーシブ教育、障がいのある児童生徒への合理的配慮等を備えた特別支援教育の実現のためには、地域ぐるみの支援体制の構築が望まれる。飯山小学校、城南中学校の通級指導教室（県費）や飯山養護学校との連携を推進するとともに、障がいのある子どもや保護者の多様なニーズに応えるためにも支援員や介助員の配置は今後も必要である。		

事業名・担当課	No. 32	不登校児童生徒支援事業	子ども育成課
事業概要	長期の不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、両中学校へ不登校対策支援員（2名）を雇用した。		
取組内容及び成果	・不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、不登校対策支援員2名を雇用した。 城南中・城北中 各1名 ・教育支援センター支援員を3名雇用 ・飯山市不登校対策委員会を、年2回（6/10、2/21）開催し、基本的考え方の徹底と相互の役割や連絡・連携体制の確認を図った。		
決算額	4,555 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	長期不登校生だけでなく不登校傾向の児童生徒が増加しており、その原因の見極めと適切な支援が必要である。また、市教育支援センターと連携を図り、子どもの居場所づくりに取組んでいく。		

事業名・担当課	No. 33	中学校部活動支援事業	子ども育成課
事業概要	教職員の働き方改革の一環として、県の補助（補助率:2/3）を受けて中学校の部活動の外部指導者を部活動指導員として任命する。		
取組内容及び成果	・中学校の外部指導者を部活指導員として委嘱し、競技力の向上と顧問教員の時間外勤務縮減を図った。 ・城南（卓球部、バレー部、スキー部2名）、城北（剣道部、陸上部、卓球部）の計7名		
決算額	2,374 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	他に職を持っている方への依頼のため、人選の難しさや活動時間の確保は課題である。また、教職員の働き方改革への検証や、地域での部活動に代わる体制検討の道筋など、課題は多い。		

事業名・担当課	No. 34	男女共同参画推進事業	人権政策課
事業概要	第4次男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会の実現を目指す。		
取組内容及び成果	○男女共同参画講演会 6/22実施 講師(株)ライト・ハンド 本合奈緒子氏 参加者 45名 ○男女共同参画推進委員、男女共同参画地域推進員、コミュニケーターの各種研修会参加 ○第5次男女共同参画計画策定 計画策定委員会 4回開催 委員16名 「男女共同参画に関する市民アンケート調査」実施 令和7年（2025年）3月に策定。冊子及びダイジェスト版を印刷		
決算額	863 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	第5次男女共同参画計画（令和7年（2025年）度～令和11年（2029年）度）に則り、計画の推進を図る。		

事業名・担当課	No. 35	人権同和教育推進事業	人権政策課
事業概要	人権同和教育を推進するための各種事業を実施 市民大会の開催、副読本「あけぼの」の配布、人権講座等の実施		
取組内容及び成果	○第52回差別のない明るい飯山市を築く市民大会 10/26開催 参加者220名 作文発表、ポスター、標語展示 講演会開催 講師 星野ルネ氏 ○副読本「あけぼの」の配布 市内保育園、小中学校に配布 保育園27冊 小学校399冊 中学校148冊 ○人権講座等の実施 人権同和集落懇談会 7地区（276名）及び14集落（312名）で開催 人権同和教育指導者養成講座 全6回 参加者延べ 687名		
決算額	1,110 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も市民大会、あけぼのの配布、人権講座の実施を通じて、人権啓発活動に努める。		

事業名・担当課	No. 36	飯山雪国大学事業	市民学習支援課
事業概要	講座やセミナーの開催を含めた、公民館の学習活動である雪国大学の運営を行う事業です。		
取組内容及び成果	・夏休み、春休み体験教室、くらしのセミナー、各種講演会、各種成人講座等を開催。新型コロナウイルス感染症を理由とする事業の実施の影響がなくなったため、多くの市民に学んでいただいている。 夏休み体験教室 10教室 138名参加 春休み体験教室 7教室 75名参加 成人講座 16講座 149名参加 地元学講座 2講座 61名参加 10/6 文化講演会「さ・か・さ」の学校 約500名 6/10 教養講座 能登半島地震から考える『備え』とは ～女性の視点の大切さと覚悟～ 参加者30名 2/15 教養講座 アジアのお香：熱帯雨林と文化 参加者32名 5/2 子育てセミナー 食のチカラ～頭で食べて強くなる～ 参加者41名 地区館との共催事業 6事業		
決算額	1,596 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	市民ニーズの把握と時節の話題を取り込み、学びの場の確保に取り組む。		

事業名・担当課	No. 37	地区館事業	市民学習支援課
事業概要	各地区公民館での地域活性化事業及び各種講座・講演会の開催を行う。		
取組内容及び成果	地区館独自行事、講座の実施 飯山市公民館との共催事業の実施 敬老会、慰霊法要等他団体との共催事業の実施 各種研修会等への参加 各種サークル活動支援 公民館報の編集、発行 ・各地区毎に多くの参加者がある。広く募集する事業には、地区外の方も参加している。		
決算額	1,136 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	各地区の特性を活かした講座や事業に取り組み、地域づくりの一助となるよう取り組む。		

事業名・担当課	No. 38	読書普及事業	市民学習支援課
事業概要	・図書館資料の購入。 ・読書の普及活動の推進。		
取組内容及び成果	・蔵書数142,996冊（うち笹本文庫18,594冊、上野氏寄贈本3,429冊）前年比1,566冊増。 ・おはなしひろば（35回、子ども166人、大人99人 計265人参加） ・絵本とわらべうたの会（37回、子ども167人、大人152人 計319人参加） ・ブックスタート（令和6年（2024年）度末時点で絵本を65人に渡し済み） ・保育園貸出（180冊ずつ年4回入替） ・図書館まつり（学びのエリア秋まつり）の開催 ・出張講座等へ講師として司書派遣 ・SNS（インスタグラム）等も活用した情報発信等		
決算額	5,332 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・公共図書館として適宜な情報発信と資料等の収集保存。		

事業名・担当課	No. 39	絵本で育てるまちづくり事業	市民学習支援課
事業概要	絵本や文学が盛んな地域づくり		
取組内容及び成果	・いい山えほんコミュニケーター養成講座（全5回、講座修了生22名） ・おでかけとしょかん〜いい山絵本マルシェ〜の開催 （会場：5月菜の花まつり、7月・10月道の駅花の駅千曲川、9月いいやま駅まつり 4回開催） ・絵本作家とよたかずひこ先生おはなし会（71名参加） ・寄贈書籍（寄贈者 上野明雄氏）の受入 ボランティアによる寄贈書籍のクリーニング及び装束作業の実施 寄贈総数 8,023冊、うち貸出可能冊数 3,125冊（令和7年（2025年）3月末）		
決算額	716 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	寄贈図書を有効活用し、絵本と人をつなぎ絵本の魅力を発信していく担い手の育成や講演会等を開催し、絵本が盛んな地域づくりを目指したい。		

事業名・担当課	No. 40	文化的景観保護推進事業	市民学習支援課
事業概要	国の重要文化的景観に選定された小菅を中心としたエリアについて、地域住民と連携を図りながら、景観の保護及び活用のための整備を進める。		
取組内容及び成果	・重要構成要素への補助 2件（菩提院屋根塗装・講堂庭洗堀箇所修繕） ・小菅参道南遺構群測量調査 ・重要文化的景観「小菅の里及び小菅山」保存・整備検討委員会の開催 ・空き家活用等に関するワークショップ ・広報に関する意見交換会 ・保存計画改訂に向けた建造物調査 ・全国文化的景観地区連絡協議会平取大会への出席（北海道平取町）		
決算額	3,281 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・平成26年（2014年）に策定された保存計画及び平成28年（2016年）策定の整備計画により、国重要文化的景観の保存・整備を行ってきた。国重要文化的景観選定から10年が経過し、人口減少等により集落の状況も変わり、文化財の保存・継承が困難になってきている。今後の新たな担い手づくりを目指すために保存計画を改訂し、保存活用計画を策定して多くの文化遺産を維持・活用するための検討を行っていく。		

事業名・担当課	No. 41	ふるさと学習推進事業	市民学習支援課
事業概要	飯山市の郷土に関する歴史、文化、自然などに関する一般展示、学習会企画展などを行い、飯山を学び、また、郷土愛を育む取組を推進する。		
取組内容及び成果	・企画展の開催 4/27-6/16 「里山に暮らす動物たち」(来館者937名) 6/22-9/1 「飯山市市制施行70周年記念展「飯山市70年の歩み」」 (来館者964名) 9/14-11/24 「飯山城-築城460年-」(来館者2,487名) 11/30-1/26 「飯山の江戸時代を掘るー飯山城跡・武家屋敷跡・門前町跡 ・寺院跡ー」(来館者463名) 2/8-3/16 「飯山城下町ひな街道ひな人形展」(来館者518名) ・体験教室(笹もち作り、縄文土器作り、まゆ玉作り等)(参加者計130名) ・出張講座、館内学習他(参加者:市内302名、市外1,122名、 セカンドスクール230名 計1,654名) ・飯山ふるさと検定(受検者 一般12名、小学生255名、中学生209名) ・11/17 茅刈りイベント「茅を刈って里山を守ろう!」参加者39名 ・12/17、2/19 飯山市文化財保存活用地域計画協議会開催		
決算額	1,224 千円	評価	概ね順調
今後の取組 ・課題等	より魅力ある企画展や学習会などを企画し、市内外の大勢の人に「飯山」を知ってもらおうと同時に、飯山の大切な文化を後世に残していく。文化財の保存活用のために飯山市文化財保存活用地域計画策定を行っていく。(令和8年(2026年)度完成予定)		

事業名・担当課	No. 42	企画展開催事業	文化交流課
事業概要	年間に企画展2回を開催し、幅広い美術に触れる機会を提供する。また、企画展作家や郷土の特色を活かしたワークショップなどを開催する。		
取組内容及び成果	次の4つの企画展等を開催 ・松蔭寺と細川家の秘宝 ブッダと白隠禅師展（4/20～6/9） 白隠禅師の第一級の作品を高精細スキャニング技術により再現した複製書画46点を展示した。専門家の詳しい解説とともに書画を間近に鑑賞できたことが来館者から好評を得た。入館者数：469人 ・猪瀬清四朗彫刻展 ―人体彫刻を追究した60年―（6/15～9/23） 市出身彫刻家、猪瀬清四朗（1937 - 2023）が生涯に亘って制作研究した等身大人体彫刻作品約50点を展示した。人体彫刻でありながら飯山の風土が内包された作品の鑑賞機会を提供できた。入館者数：1,110人 ・長野県立美術館移動展 ―丘に沿って、河にそって―（9/28～10/13） 草間彌生をはじめ信州を代表する作家から小松美羽など近年目覚ましい活躍を続ける長野県ゆかりの作家の作品30点を紹介。油彩、水彩、版画、彫刻、写真、アニメーションといった幅広いジャンルの質の高い美術作品に触れる機会を提供した。入館者数：1,448人 会期中、市バスを活用した企画展鑑賞会において、城南中学校から189名が本企画展を鑑賞し、県立美術館学芸員と交流する機会を設けた。 ・伝統美と創造の世界 長谷川青澄没後20年展（10/19～12/1） 郷土を代表する画家、長谷川青澄の没後20年を記念し、市美術館所蔵の代表作と個人所蔵作品あわせて80点を展示。関係者が高齢化するなか、あらためて同画家の業績を市内外にアピールした。入館者数：710人		
決算額	4,030 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・郷土出身の美術家に固執せず、当市で紹介することがふさわしい現代美術など様々なジャンルの作品を取り上げていく。 ・企画展に足を運んでもらうための工夫やPRの強化が必要。		

事業名・担当課	No. 43	大阪市姉妹交流都市提携50周年記念合唱祭事業	文化交流課
事業概要	昭和49年（1974年）12月に締結した大阪市との姉妹都市提携は、「スポーツ交流スキー姉妹都市」として長年交流をしてきた、吹奏楽交流や合唱団の交流など音楽を通じた交流をきっかけに、平成28年（2016年）9月に「市民交流姉妹都市宣言」として拡充し、50周年を迎えたことに伴い、当市での姉妹交流都市提携50周年記念合唱祭の開催、大阪市内で開催される合唱祭に飯山市民公募合唱団、みゆき野吹奏楽団が参加し、市民の文化交流を実施。		
取組内容及び成果	7/21 大阪市・飯山市姉妹都市提携50周年記念合唱祭 （なちゅら大ホール）入場者数 470名 出演者：市内合唱団 12団体 194名、大阪市民合唱団 34名 9/23 第12回 大阪市コミュニティ合唱祭（鶴見区民センター） 参加者：朧月夜スペシャル混声合唱団 26名 みゆき野吹奏楽団 17名		
決算額	1,684 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	大阪市との音楽を通じた、市民の文化交流は継続をされている。 今後は、他の観光交流都市などとの文化交流も広げていけば、交流人口の拡大につながると思う。		

事業名・担当課	No. 44	芸術文化振興事業	文化交流課
事業概要	芸術文化を楽しむ風土の醸成や、日常的な活動及び市内外の交流・にぎわい活動を推進する文化交流館の運営、幼児期から芸術文化に触れる機会を提供する事業を実施する。また芸術文化団体等が開催する事業の支援（補助）を行う。		
取組内容及び成果	・自主事業 5/25 なちゅらる寄席第1回 三遊亭ときん独演会（小ホール）入場者数 101名 7/28 なちゅらる寄席第2回 柳亭こみち独演会（小ホール）入場者数 95名 9/28 なちゅらる寄席第3回 春風亭柳好独演会（小ホール）入場者数 78名 10/5-6 学びのエリア秋祭り（マルシェほか） 10/14 シニア演劇アカデミー「きたしなの演劇場」（小ホール）入場者数 150名 参加者：15名 稽古：8/24～10/13 計5回 1/18 なちゅらる寄席第4回 三遊亭ときん独演会（小ホール）入場者数 107名 3/23 いいやま菜の花寄席「三遊亭小遊三・古今亭菊之丞」（大ホール） 入場者数 490名 【共催】 4/29 いいやまSHOWAフェス（大ホールほか） 8/31 いいやまSHOWAフェス 昭和大演芸会（大ホールほか） 2/23 いいやまSHOWAフェス 昭和のミュージック&フリマ（大ホールほか） 3/1 オーケストラ・アンサンブル金沢 能登半島地震復興応援コンサート いいやま音楽祭合唱団（60名）との共演 ・幼児芸術鑑賞 9/4 「アンディ先生のマジックイリュージョンショー」 市内保育園及び幼稚園年長児、保育士、保護者 164名 ・小中学生音楽体験事業 （一財）地域創造「公共ホール音楽活性化事業」 出演者：モデトロ・サクソフォン・アンサンブル 11/6-7 市内各小学校での6年生を対象としたアウトリーチ 計120名参加 11/8 コンサート 市内中学全校生徒 415名参加 ・芸術団体等支援 芸術文化団体が開催する事業（市民芸術祭、芸術文化月間、芸文協創立40周年記念事業、いいやま音楽祭）に対し支援（補助・交付金）を行い、それぞれ活発な事業が行われた。		
決算額	5,678 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・シニア世代の参加者を募った演劇ワークショップ、小中学生に良質な音楽に触れる機会を提供するアウトリーチなど新たな事業への取り組みを行い、幅広い年齢層が館に気軽に訪れるような多様な事業展開を図り、更なる文化振興を図る。		

事業名・担当課	No. 45	スポーツ振興事業	スポーツ推進課
事業概要	市スポーツ協会及びスポーツ関係団体、大会実行委員会等を中心に、誰もが気軽に楽しめるスポーツの環境を整備するため、各種教室や大会の開催、スポーツ選手の育成、強化の支援を行う。		
取組内容及び成果	・各種団体及びスポーツ大会への支援 5,584千円 スポーツ団体の活動を支援することで市のスポーツ振興が図られている。 ・市民プール運営【32日間、入場者9,084人】 夏場の健康や体力向上、友人、家族などで楽しむ場が提供できた。 ・第50回市駅伝大会【正規14、オープン9チーム参加】 人口減少による選手や役員の選出に苦慮する課題に対応するため、市内を西と東に分け、2年かけて市内を一周するコースに変更。本年度は西側をコースとして、5年ぶりに公道にて開催した。 ・全国スポーツ大会出場選手激励金【延べ個人39、団体12】 1,200千円 スキーのみならず、毎年多くの種目で全国で活躍する選手も増え、選手に対する期待感とスポーツに対する関心も高まっている。		
決算額	9,040 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・市駅伝大会はタスキをつなぐ競技であり、公民館行事としても開催しているが、関係者からはどちらが優先されるべきなのかとの意見もあるため、駅伝大会のあり方の検討が必要。		

事業名・担当課	No. 46	ジュニアスポーツ振興事業	スポーツ推進課
事業概要	市内の各種ジュニアスポーツ大会開催やジュニアスキー活動への支援、及び中学校休日部活動の地域クラブ移行を進めるための実証事業を行う。		
	・ジュニア大会の開催及び大会開催補助 5/12ジュニア陸上大会（145名参加） 6/29、30サマージャンプ大会（104名参加） 8/25ジュニア水泳大会（60名参加） 11/4ジュニア駅伝大会（47チーム参加） 3/9市民スキーフェスティバル（個人戦95名、リレー35チーム参加） 3/16市民レクリエーションスキー大会（個人戦50名、チーム戦17チーム参加） ジュニアクロスカントリー大会（悪天候により中止） ・飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会への支援 ・ジュニアスキー専任コーチ、コース整備等委託 地の利を生かしたスキーは、ジュニア育成連絡協議会の管理のもとに育成がなされており、全国や世界の大会に出場する選手の輩出に寄与している。 ・中学校休日部活動の地域クラブ移行 岳北4市村による地域連携協議会の設立や地域クラブ受け皿の拡大などを目的として、地域連携コーディネーターを1名配置。令和6年（2024年）4月より卓球部が本格実施を開始、飯山市スポーツ協会卓球部を受け皿として、飯山市スポーツ協会へ指導者の報酬や支払いなどを委託した。 このほか、軟式野球部はJHSみゆき野ベースボールクラブが主体となり、独自の地域クラブとして令和6年（2024年）度から活動を開始しており、種目が拡大しつつある。		
決算額	13,030 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・人口減少に伴う競技人口の減少や指導者の確保、中学校休日部活動の地域クラブ移行に伴う受け皿の整備などが課題。		

事業名・担当課	No. 47	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ推進課
事業概要	スポーツ資源と観光産業を融合したツーリズム事業		
取組内容及び成果	・スポーツ大会開催を通じ、交流人口の拡大等の推進を図る。 4/20、21 菜の花ゲートボール大会（50チーム、263名参加） 10/12 チームタクカップ2024（113名参加） 11/10 第12回北信州ハーフマラソン（ハーフ804名、10km358名、3km71名） 菜の花ゲートボール、ハーフマラソンとも5大会ぶりにコロナ禍前の内容により開催された。また、チームタクカップは知名度のある選手をゲストに迎え、市内外から多くの観客が足を運んでおり、各大会ともスポーツを通じて、飯山市へ訪れていただく場を提供できた。 なお、ハーフマラソンは開催から12年が経過し、3市村の状況が変化していることを踏まえ、大会を終了することで実行委員会で承認された。		
決算額	4,750 千円	評価	要検討
今後の取組・課題等	・北信州ハーフマラソンの終了に伴う、今後の事業のあり方の検討		

事業名・担当課	No. 48	体育施設整備事業	スポーツ推進課
事業概要	体育施設の維持修繕や改修により、施設利用者の安全確保と利便性の向上を進める。		
取組内容及び成果	・屋内運動場事務室空調機設備更新工事 1,320千円 ・市民プール給湯機更新工事 770千円 ・弓道場屋根修繕工事 495千円 ・屋内運動場施設内LED照明化工事（1期） 528千円 ・施設備品購入（プールクリーナー、グラウンドレーキマットなど） 1,103千円 施設の老朽化が進み、修繕が追い付かない状況にあるが、施設利用者への安全確保を優先し、利用団体の要望等を踏まえ、改修や更新に順次努めている。		
決算額	4,216 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・危険度や不便さのある施設を優先し、計画的に整備を進める ・利用料金の見直し検討		

事業名・担当課	No. 49	第82回国民スポーツ大会開催事業	国民スポーツ大会推進課
事業概要	2028 信州やまなみ国スポ 冬季大会スキー競技会（アルペン・クロスカントリー・ジャンプ）【2028年2月】及び本大会カヌースプリント競技【2028年10月】に向けた開催準備と市内出場選手の育成を行う。		
取組内容及び成果	・市営飯山ジャンプ整備事業基本設計業務委託 8,458千円 ・スキー選手育成・強化補助 2,000千円 ・カヌー選手育成・強化補助 1,000千円 スキー及びカヌースプリント競技への地元選手輩出に向け、ジュニア年代を中心とする育成強化が図れている。 ・国民スポーツ大会飯山市準備委員会負担金 1,472千円 ①総会、常任委員会、各専門委員会、ジャンプ台整備検討部会の開催 ②先催地視察及び情報収集 【新潟県妙高市／長野県白馬村／佐賀県佐賀市／滋賀県東近江市／秋田県鹿角市】 ③国民スポーツ大会PR ・第47回長野県スキー大会週間（ジャンプ競技）の開催 1,287千円		
決算額	14,372 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・カヌースプリント競技における、競技役員の育成 ・ジャンプ台の改修と各種車両又は設備等の更新 ・開催地決定に伴う準備委員会から実行委員会への改組		

事業名・担当課	No. 50	犯罪被害者等支援事業	人権政策課
事業概要	飯山市犯罪被害者等支援条例に基づく犯罪被害者等の支援を行うための支援金及び助成金		
取組内容及び成果	令和5年（2023年）12月に「飯山市犯罪被害者等支援条例」を施行した。この条例に基づき犯罪被害者等の支援を行うため、支援金及び助成金の交付を行った。 ○犯罪被害者等支援金（重病支援金） 1件 100千円 ○犯罪被害者等日常生活支援助成金（転居支援） 1件 200千円		
決算額	300 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も犯罪被害者等の支援に努める。		